一般国道5号（北海道横断自動車道）蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）に係る新規事業採択時評価

・新千歳空港や札幌市から国際的観光リゾート「ニセコ」への速達性向上により、観光振興を支援
・高次医療施設への速達性・安定性向上により、救命救急医療活動を支援
・大規模災害時の代替路確保や災害発生時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保

1. 事業概要

・起　終　点：北海道虻田郡ニセコ町元町
～北海道虻田郡倶知安町字旭

・延　長　等：11.7km
（第1種第3級、2車線、設計速度80km/h）
・全体事業費：約640億円
・計画交通量：約9,100台／日

乗用車類	小型貨物	普通貨物
約6,500台／日	約1,300台／日	約1,300台／日

図1　広域図

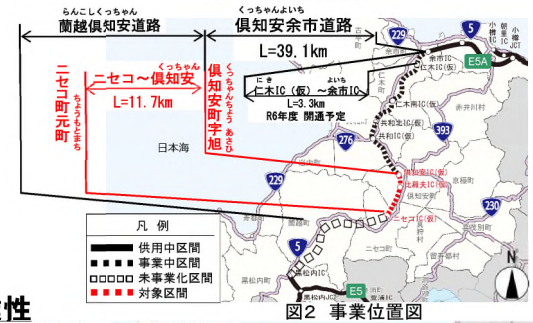
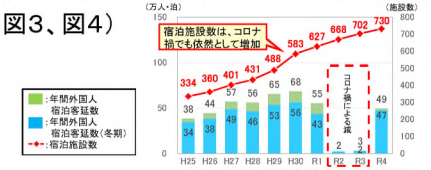


図2　事業位置図

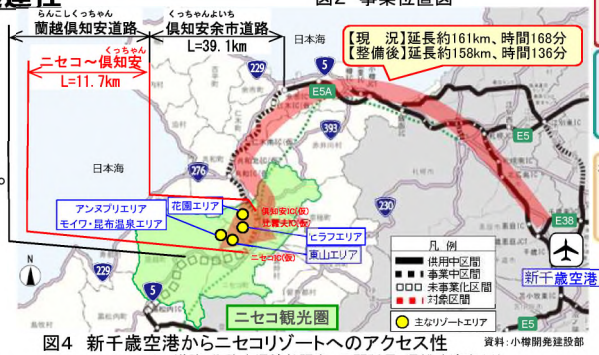
2. 課題

①国際的観光リゾート「ニセコ」への速達性

・国際的観光リゾート「ニセコ」では、コロナ禍においても宿泊施設などのリゾート開発は依然として増加しているが、新千歳空港や札幌市からニセコ観光圏への移動に時間がかかり、速達性の確保が課題。（図3、図4）



資料：北海道観光入込客数調査報告書
図3 ニセコ観光圏の訪日外国人宿泊客数（延数）と宿泊施設数の推移



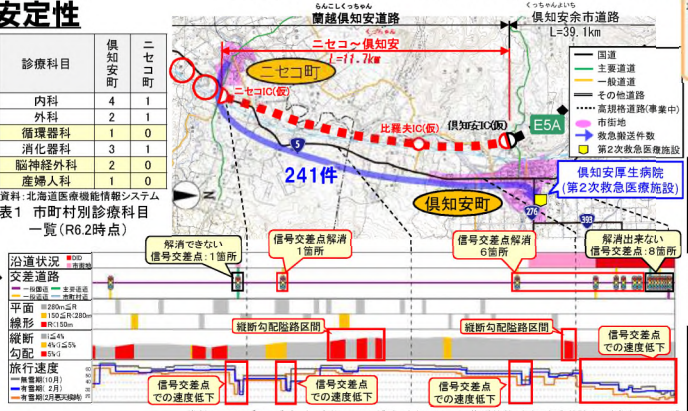
資：小樽開発建設部
図4　新千歳空港からニセコリゾートへのアクセス性
※R3道路・街路交通情勢調査、区間延長・混雑時速度より
【現況】現道利用ルート　【整備後】余市IC（仮）～ニセコIC（仮）80km/h

②高次医療施設への速達性・安定性

・ニセコ町内で診療できない循環器科・脳神経外科・産婦人科の診療や救急搬送は、第2次救急医療施設がある倶知安町に依存。
・ニセコ町から倶知安町までの救急搬送ルートである国道5号には、信号交差点での速度低下や縦断勾配隘路区間などがあり、速達性・安定性の高い救急搬送ルートの確保が課題。（表1、図5）

診療科目	倶知安町	ニセコ町
内科	4	1
外科	2	1
循環器科	1	0
消化器科	3	1
脳神経外科	2	0
産婦人科	1	0

資料：北海道医療機能情報システム
表1　市町村別診療科目一覧（R6.2時点）



資料：ETC2.0プローブデータ、事故マッチングデータ（H24～R3）、搬送件数：令和5年度羊蹄山ろく消防ヒアリング
図5　ニセコ町からの救急搬送件数（令和4年度）と搬送経路（国道5号）の道路課題

③大規模災害時における代替路の強化

・道南～道央間の貨物輸送を担う幹線道路や鉄道は太平洋側に位置しているが、約30年周期で噴火を繰り返す有珠山や樽前山が存在。（図6）
・国道5号は、災害発生時の代替路となるが、洪水浸水想定区域が存在するため、災害発生時でも通行可能な道路機能の確保が課題。（図7）

資料：H12有珠山噴火に伴う影響調査（北海道開発局）
図6　平成12年有珠山噴火災害時における交通転換の状況

資料：尻別川水系尻別川・倶登山川　（後志総合振興局）
図7　国道5号の課題（洪水浸水想定区域）

3. 整備効果（WISENET2050との対応）

効果1　国際的観光リゾート「ニセコ」への速達性の確保【◎】

経済成長・物流強化　観光立国の推進

・道外観光客や外国人観光客の移動拠点である新千歳空港や札幌市からニセコへの移動時間を短縮

〇新千歳空港～ニセコ観光圏（ニセコ市街地）への冬期所要時間
【現況】168分　⇒　【整備後】136分（32分短縮）

※R3道路・街路交通情勢調査の混雑時速度、ニセコIC（仮）～余市ICの旅行速度は、80km/h（夏期）、72.0km/h（冬期）で算出。
冬季と夏季の平均旅行速度を算出し、低減率0.9とした。
【現況】道央道、国道5号利用ルート　【整備後】事業中含む倶知安余市道路＋蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）利用ルート

効果2　高次医療施設への速達性、安定性の向上【〇】

地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

・北海道横断自動車道の整備により、第2次救急医療施設への搬送時間短縮や安定した搬送が可能となり、患者への負担が軽減

〇ニセコ町から倶知安厚生病院への冬期搬送時間【現況】23分　⇒　【整備後】19分（4分短縮）
〇信号交差点の通過【現況】16箇所　⇒　【整備後】9箇所（7箇所解消）
〇縦断勾配隘路区間【現況】2区間　⇒　【整備後】0区間（2区間解消）

※R3道路・街路交通情勢調査の混雑時速度、ニセコIC（仮）～余市ICの旅行速度は、80km/h（夏期）、72.0km/h（冬期）で算出。
冬季と夏季の平均旅行速度を算出し、低減率0.9とした。
【現況】道央道、国道5号利用ルート　【整備後】事業中含む倶知安余市道路＋蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）利用ルート
第5次ニセコ町総合計画、第6次倶知安町総合計画

効果3　大規模災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保【◎】

地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

・洪水浸水想定区域の回避により、有珠山噴火等の災害時の代替路として信頼性の高い道路機能を確保

〇洪水浸水想定区域の回避　【現況】3.5km　⇒【整備後】0km　（3.5km解消）
第5次ニセコ町総合計画、第6次倶知安町総合計画

■費用便益分析結果（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
（参考）1.4（0.8）〔4%〕 2.2（1.2）〔2%〕※3 2.8（1.6）〔1%〕※3	5.9% （2.9%）	2,474億円※2 （416億円※2）	3,576億円※2 （328億円※2）

注）費用便益分析結果は、黒松内～余市を対象とした場合、（　）書きの値は事業化区間を対象にした場合
※1：EIRR：経済的内部収益率　※2：基準年（R05年）における現在価値を記載　（現在価値算出のための社会的割引率：4%）
※3：比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）整備前	脆弱度（防災機能ランク）整備後	累積脆弱度の変化量	改善度 通常時	改善度 災害時	評価
18（6）	1.00[D]（0.95[C]）	0.65[C]（0.95[C]）	▲120.3（▲0.0）	0.15（0.05）	0.39（0.00）	◎

注）上段の値は黒松内～余市を対象とした場合、下段（　）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果

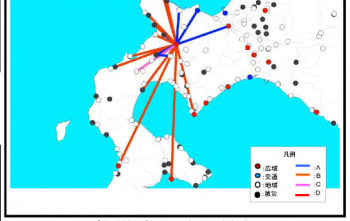
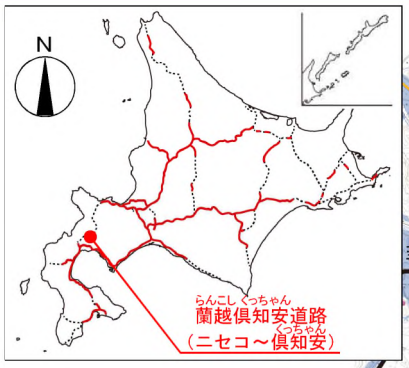
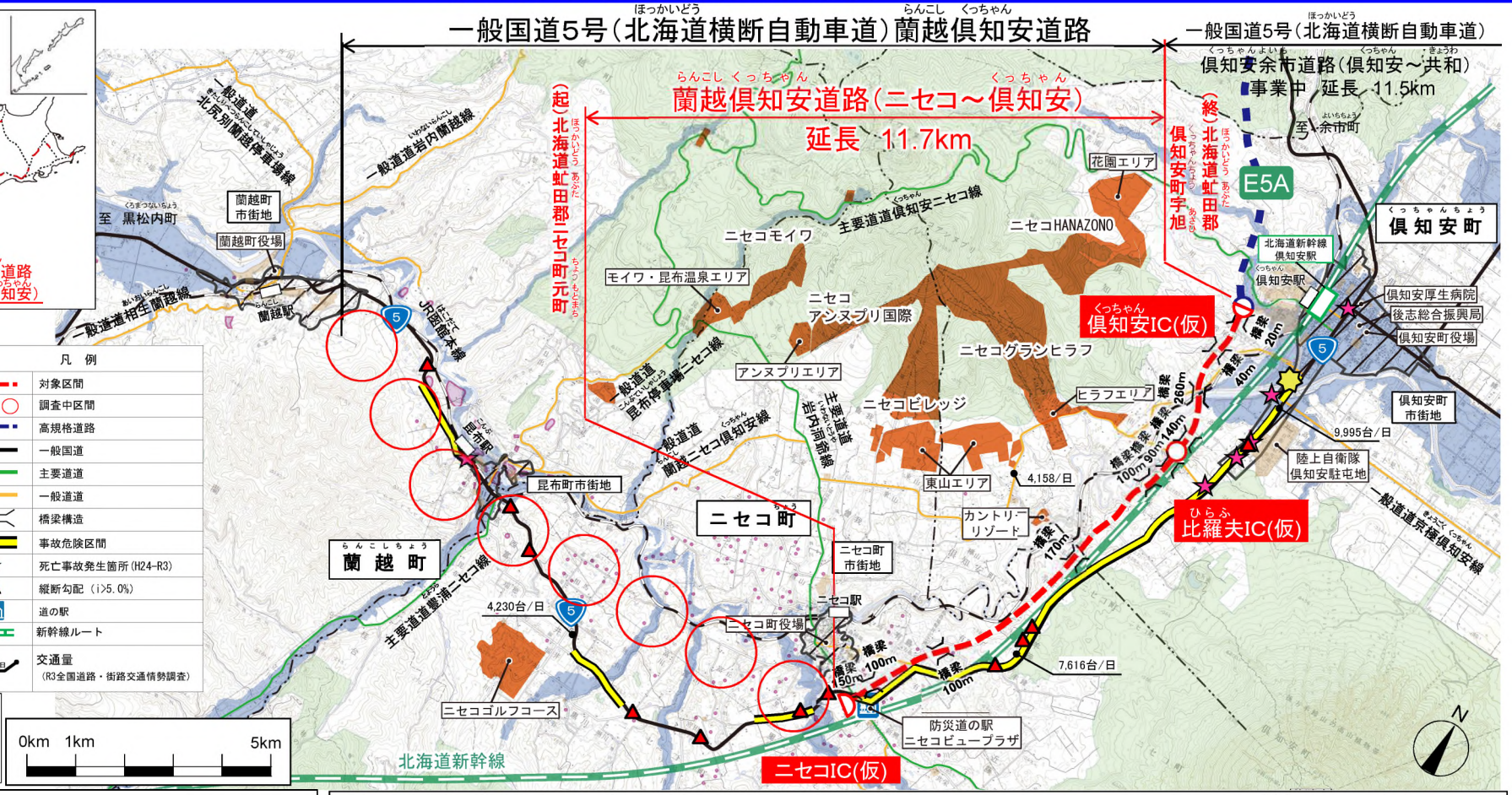


図8　整備後の防災機能ランク

一般国道5号（北海道横断自動車道）蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）に係る新規事業採択時評価

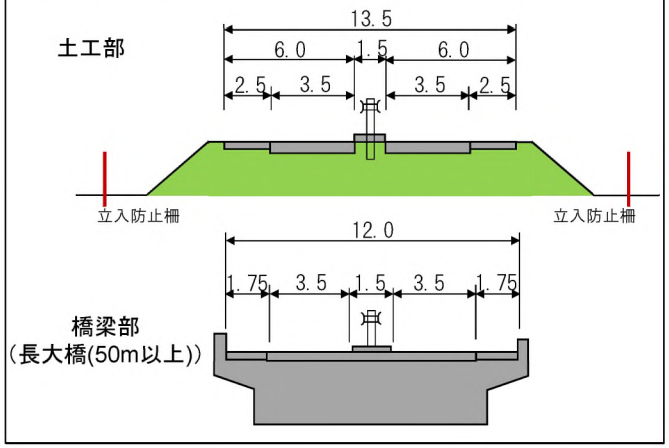
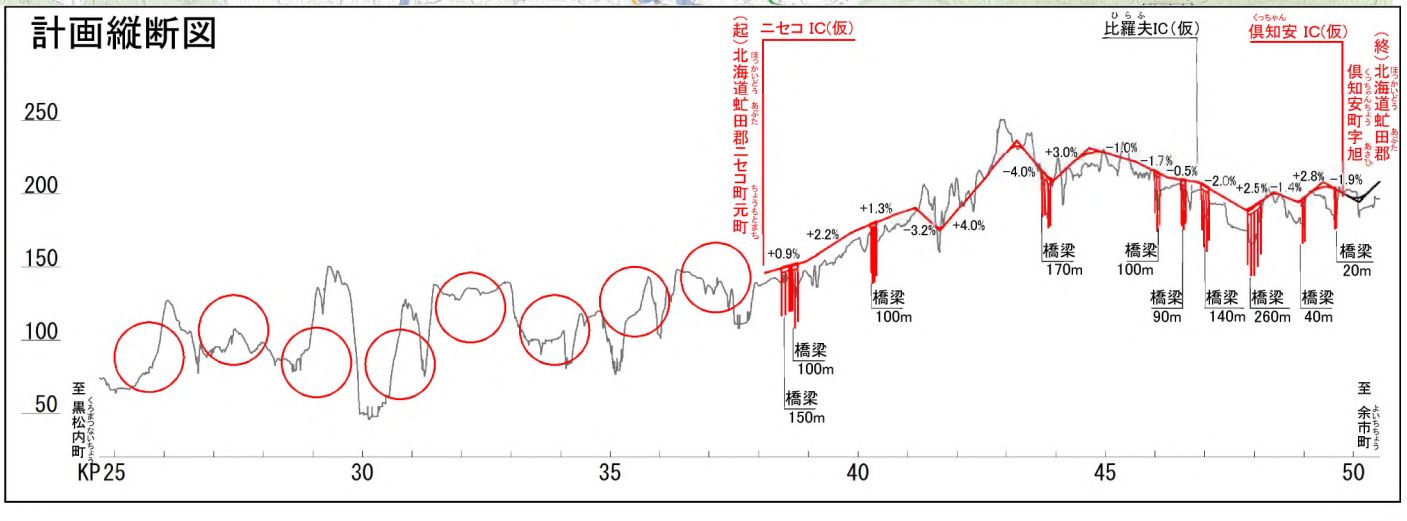


全体延長：　11．7km
土工延長：　10．5km（90％）
橋梁延長：　 1．2km（10%）



標準横断図

（単位：m）



計画縦断図